

### 第3節 大気環境計画の進捗状況

県では、大気汚染の防止に向けた施策を総合的かつ計画的に推進するため、昭和47年度に「大気環境計画（ブルースカイ計画）」を策定し、各種施策を展開している。

その結果、本県における大気環境の状況は概ね良好な状態にあるが、一時的に高濃度になることがある光化学オキシダントへの対応、カーボンニュートラルにも資する取組みの推進など、大気環境行政を取り巻く情勢が変化してきていることから、令和5年3月に大気環境計画の改定（第15次）を行っている。

#### 1 大気環境計画の概要

- (1) 期 間 令和5年度から12年度（8年間）
- (2) 目 標 きれいな大気環境の確保と次世代につなぐよりよい大気環境づくり
- (3) 推進施策

##### **1 大気環境の状況の把握及び大気汚染の未然防止**

- ① 大気環境の監視及び調査
- ② 規制基準の遵守指導
- ③ 事業者による取組みの推進
- ④ 事故の未然防止
- ⑤ 公害苦情処理及び紛争解決

##### **2 大気環境の改善及びカーボンニュートラル実現に向けた取組みの推進**

- ① 工場・事業所における取組みの推進
- ② 自動車・交通における取組みの推進
- ③ 家庭における取組みの推進
- ④ 再生可能エネルギーの導入促進
- ⑤ 情報提供の充実や普及啓発活動
- ⑥ 県庁の率先行動

##### **3 快適な大気環境の実現に向けた体制の整備**

- ① 大気環境の向上に向けた環境整備
- ② 大気環境保全に取り組む人づくり
- ③ 快適な大気環境保全のための調査研究の推進
- ④ 国際的な環境問題に対する貢献

- (4) 推進体制 事業者、関係団体、関係行政機関等で構成する「環境とやま県民会議」や「エコドライブとやま推進協議会」等を活用しながら、関係者が意見・情報交換を行い、各種施策を推進
- (5) 進行管理 施策の進捗状況や目標の達成状況等を定期的に確認し、大気汚染の現況等で計画の進捗状況を公表

## 2 大気環境計画の進捗状況

大気環境計画に掲げる指標の達成状況は、次のとおりであった。

### 1 大気環境の状況の把握及び大気汚染の未然防止

指標名及び説明	計画策定期 (3年度)	現 状 (6年度)	目 標 (12年度)
<b>大気環境基準の達成率</b> 環境基準設定物質（光化学オキシダント除く）の環境基準の達成率	100%	100%	100%
<b>光化学オキシダントの注意報発令回数</b> 光化学オキシダント濃度（1時間値）が 0.12ppm 以上となった場合に発令する注意報の回数	0回	0回	0回
<b>微小粒子状物質（PM2.5）の注意喚起実施回数</b> PM2.5 の日平均濃度が 70 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 超過の予想又は超過のおそれがある場合に行う注意喚起の回数	0回	0回	0回
<b>注意報等を 30 分以内に伝達完了した機関の割合</b> 注意報発令等の伝達訓練時に、30 分以内に伝達完了した機関の割合	82%	76%	100%
<b>有害大気汚染物質指針値の達成率</b> 指針値が設定された有害大気汚染物質（アクリロニトリル等 11 物質）に係る指針値の達成率	100%	100%	100%
<b>石綿除去作業現場における石綿濃度基準の達成率</b> 石綿除去作業現場で測定した濃度の基準（10 本/L 以下）の達成率	100%	100%	100%
<b>石綿除去作業現場等での指導件数</b> 石綿除去作業現場や建築物解体等現場への立入検査のうち指導を実施した件数の割合	25%	10%	0 %
<b>石綿の事前調査の指導件数</b> 県に報告された石綿含有建材使用の有無に関する事前調査結果のうち指導を実施した割合	—	0 %	0 %
<b>水銀排出基準の達成率</b> 廃棄物焼却炉等の水銀排出施設における排出基準の達成率	100%	100%	100%
<b>指定化学物質の大気への排出量</b> 化管法で定める第一種指定化学物質の大気への排出量	1,364 トン (2年度)	1,640 トン (5年度)	2年度より 減少させる
<b>大気汚染に関する事故件数</b> 大気汚染防止法のばい煙発生施設又は特定施設に関する事故発生件数	0件	0件	0件
<b>大気汚染に関する苦情件数</b> 県や市町村に寄せられた野外焼却や工場の煙などに関する苦情件数の全国順位（人口 10 万人当たり、件数が少ない順位）	2位 (3.8 件/10 万人)	1位 (2.0 件/10 万人)	1位

## 2 大気環境の改善及びカーボンニュートラル実現に向けた取組みの推進

指標名及び説明	計画策定期 (3年度)	現 状 (6年度)	目 標 (12年度)
<b>県支援制度の活用や横展開による設備導入実績</b> 県支援制度の活用や横展開による省エネ、再エネ設備や高度化、燃料転換に係る設備の導入件数	—	省エネ、再エネ : 54 件 高度化、燃料転換 : 4 件	省エネ、再エネ : 35 件以上 高度化、燃料転換 : 35 件以上
<b>ガソリン車の台数</b> 軽油車、LPG 車を含み、電動車※を除く車両の台数 (平成 25 年度比)	▲5.5% (元年度)	▲13.1% (5年度)	▲35%以上
<b>エコドライブ宣言者数</b> エコドライブ宣言者数の累積人数 (平成 20 年度から募集)	242,404 人	313,202 人	440,000 人
<b>県民一人当たりの地域交通利用回数</b> 県民一人が年間に地域交通を利用した回数	36.5 回	43.7 回	50.0 回 (10 年度)
<b>宅配便の再配達率</b> 宅配便の件数のうち再配達になった割合	—	9.0% (6年10月)	7.0%
<b>大気環境学習への参加人数</b> 星空観察会、エコドライブ体験会等の大気環境保全に関するイベントへの年間の参加人数	398 人	772 人	3,000 人

※電動車：電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド車、ハイブリッド車

## 3 快適な大気環境の実現に向けた体制の整備

指標名及び説明	計画策定期 (3年度)	現 状 (6年度)	目 標 (12年度)
<b>走りやすい道路の延長</b> 改良済みの道路延長	2,219km (2年度)	集計中	2,239km
<b>都市公園の面積</b> 快適な環境づくりに向けた都市公園の整備面積	1,639ha (2年度)	集計中	1,679ha
<b>里山林の整備面積</b> 快適な環境づくりに向けた里山林の整備面積	3,773ha	4,201ha	4,800ha
<b>「環境楽習室エコ・ラボとやま」の見学・体験者数</b> 「環境楽習室エコ・ラボとやま」を見学・体験した人 数	500 人 (2年度)	3,071 人	1,000 人
<b>微小粒子状物質 (PM2.5) 濃度の改善度</b> 一般環境観測局における PM2.5 濃度の年平均値とその 全国順位 (濃度が低い順位)	7.3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (3年度) 全国 13 位 (2年度)	7.8 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (6年度) 全国 11 位 (5年度)	3 年度より 低減させる 全国 10 位 以内